

日中福祉プランニング代表 王青



王さん

中国は新型コロナウイルスの感染を封じ込むために、「ゼロコロナ政策」を堅持してきました。昨年のデルタ株の感染が拡大した際には、このような強硬な政策が奏功しましたが、今年2月から中国の各地に広がったオミクロン株の感染は思い通りに抑えきれず、中国最大の経済都市である上海は3月に入ってから毎日2万人の感染者が確認されたため、ついに3月下旬から、ロックダウン(都市封鎖)が実施されました。

Report 中国のコロナ事情

都市封鎖で在宅高齢者犠牲に

救ったのはヘルパーの熱意と行動

給が間に合わず、市民は食料確保に奔走も出来ず途方に暮れました。これまでデリバリーは日常生活に浸透し、食料販売のアプリもたくさんありますが、いかにせんモノを運ぶ人がいないのです。「朝から晩まで1日を費やしているようなアプリを開くのが日課だ」というのが当たり前の生活となりました。つまりスマホ上の「食料の奪い合い」という事態でした。

上海は、上海独自の介護保険制度があり、在宅介護の支援として、高齢者にヘルパーを派遣するシステムがあります。介護度により、週に数日間か毎日1時間のヘルパーさんによる家事手伝いやお食事の介助を実施しています。大概の高齢者は近くに住む親族やヘルパーさんの支援で日常生活がロックダウンで訪問ができなくなりました。なぜなら、親族もスタッフも自宅に閉じ込められているからです。

解除されるまでの2カ月以上、上海市民は自宅から一步も出られない状況で、交通機関や流通も止まったままでした。食料不足や医療機関の閉鎖などにより、大きな混乱が起こり、コロナ以外の二次、三次の災害が相次ぎました。そのような中で、最も打撃を受けたのが高齢者でした。

3月下旬から始まったロックダウンは、最初4日間の予定でしたが、その後感染者が増える一方で封鎖が続きました。物資不足で政府からの配



ロックダウン中に高齢者宅を訪問し、食料などを届けるヘルパー

番高齢化が進んでいる地域の一つです。常住人口が約2500万人の中で、60歳以上の人口が581万人、23・4%の割合となっています。また、上海は経済が発展するにつれ核家族化が進み、さらに「一人っ子政策」の影響で、現在一人暮らしの高齢者の数が30・52万人にも上ります。

Advertisement for Silver New Paper digital edition. Includes text: 'どこでも読める。いつでも読める。' and 'シルバー新報電子版をお申込みください'. Features a QR code and contact information for Fujisan Magazines.